

# 施工ガイド

内装専用粘土塗装材



クレイペイント



クレイペイントテクスチャー



この度は、本製品のご利用ありがとうございます。

LOVE &  
ECOLOGY



株式会社 縄文

# もくじ

## 1 製品について

## 2 下地について

【石膏ボード】の場合

図：下地処理方法

【ベニヤなどの木製ボード】の場合

【コンクリート、モルタル】の場合

【吸い込みの激しい下地】(ケイカル板など)の場合

【既存のクロス】の場合

## 3 クレイペイントの施工について

塗装方法一覧表

## 4 施工上の注意

## 5 安全上の注意

## 6 保管 / 廃棄

## 1 製品について

クレイペイント / 内装専用粘土塗料

クレイペイントテクスチャー / 内装専用骨材入り粘土塗料



容器のラベル(枠の部分)で色の確認をしてください



種類 クレイペイント

色 ホワイト

種類 クレイペイントテクスチャー

色 オフホワイト

容 器 プラスチック容器 10リットル入り

標準施工面積 約5平方メートル/リットル

仕 上 り 艶消し

色 標準7色

クレイペイン

クレイペイント

テクスチャー

ボルドーレッド オーカー オレンジ ストーングリーン オフホワイト

ホワイト チャコールグレー

**天然鉱物を使用しているため、ロットにより多少色が違う場合があります**

道具 ローラー、刷毛、コテバケ、スプレーガンなど

施工場所 建物内部の壁面・天井など内装専用

(キッチンのシンク廻りバス等常に水のかかる場所、油等を使う場所は避けてください)

## 2 下地について

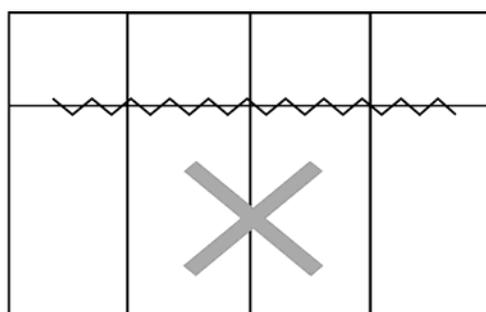
クレイペイントは施工する面を平滑にする為の下地調整が必要です。

【石膏ボード】(V目地ボード、テーパーボード)の場合

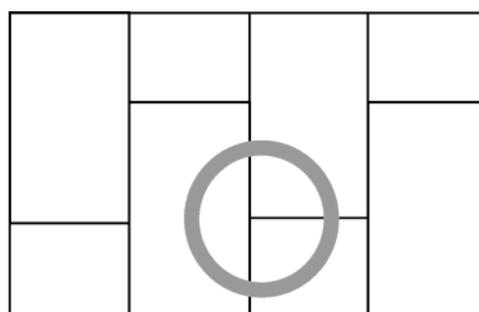
- ・石膏ボードは下図のように、継ぎ目が一直線にならない様に貼り、ビス止めもボード毎に位置をずらしてとめます。
- ・ボードの継ぎ目にメッシュ状のテープを貼ります。(MKブリッジテープなど)この時、メッシュテープ同士が交差する部分については、重ならないようにします。
- ・メッシュテープを貼った継ぎ目部分、ビス穴は、パテ(メーコージョイントコンパウンドなど)で平滑になる様に処理します。乾燥後、メッシュテープの段差や隙間等の無いように仕上げパテ(MK ECO スーパーパテなど)で平滑にします。(不陸調整の為に必要な場合は数回おこないます。乾燥後サンドペーパー等で仕上げ面を整えます)

接着不良の原因となりますので、サンディングした後は表面に付着したパテ等の粉をよく拭き取ってください。

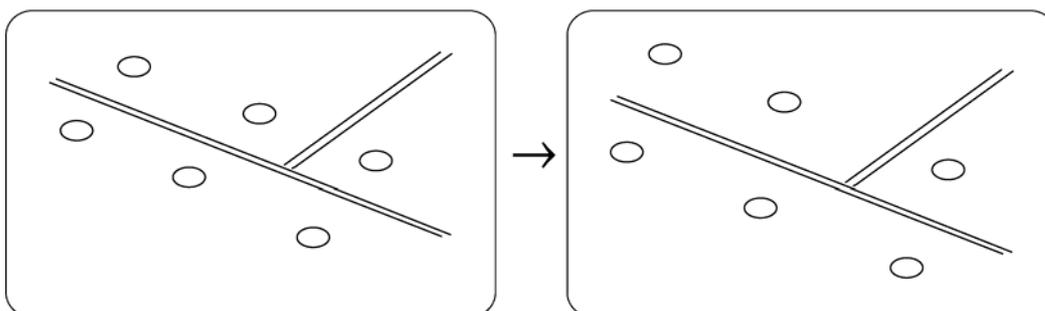
ボード類を下地とする場合、目地が一直線にならないようにしてください。



クラックが入りやすい



クラックが入りにくい



ビスの位置をボード毎にずらしてください

パテ処理面の不陸は仕上がりに影響しますので、(照明や太陽光の反射によってムラが見える)全面がフラットになるようにパテをしごいてください。継ぎ目については幅広く処理してください。

複数の素材を下地とする場合、下地材料で全面を処理し、同一の下地にする事をお勧めします。

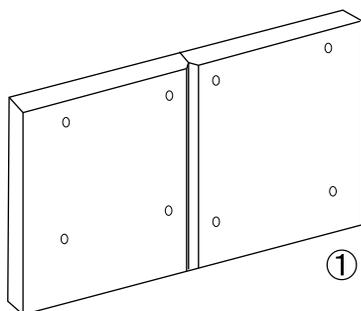
なるべく大判(3×8、3×9など)のボードを使用してください。(目地の数を少なくできます)

ボード突きつけの場合、目地部分は、カッターやボードヤスリなどで小口をV目地状にしてください。

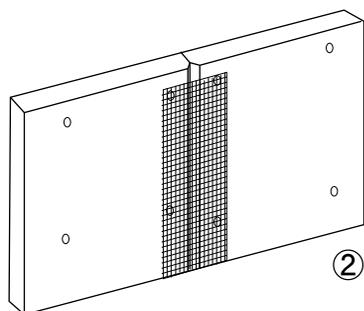
不陸(ふりく)とは、凸状及び凹状の部分を指します。

# 下地処理方法 例 (石膏ボード目地処理)

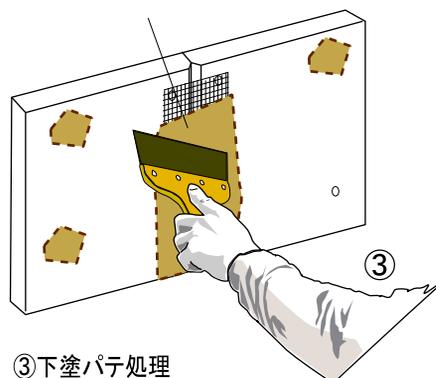
参考材料：吉野石膏 タイガージョイントセメント  
メーカー ジョイントコンパウンド



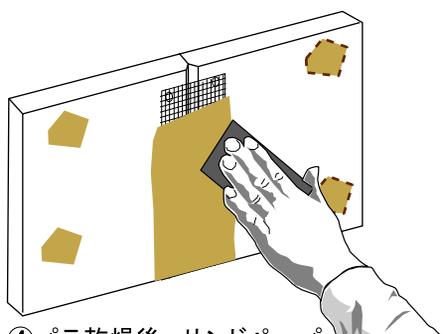
①チリや埃を除去します



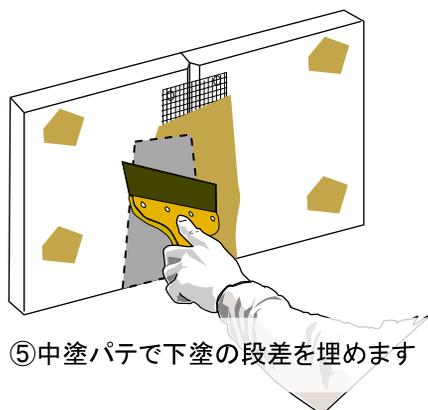
②メッシュテープを目地部に貼ります



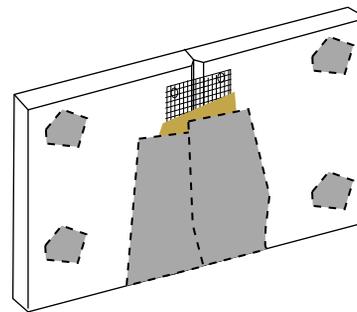
③下塗パテ処理  
目地部、ビス穴に金ペラ等で下地パテを埋めます



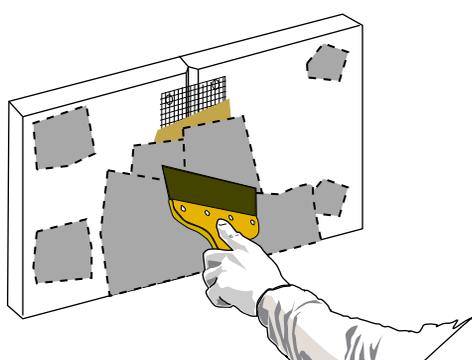
④パテ乾燥後、サンドペーパー(#180-#240)等で平滑にします  
※パテの粉はよく拭き取ってください



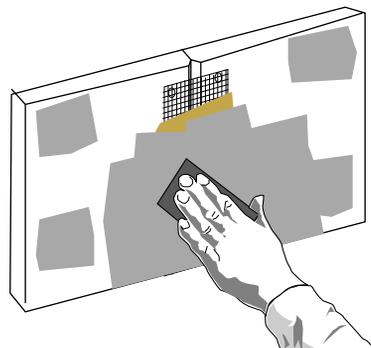
⑤中塗パテで下塗の段差を埋めます



参考材料：中塗パテ  
吉野石膏 タイガージョイントセメント  
メーカー MK ECO スーパーパテ

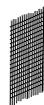


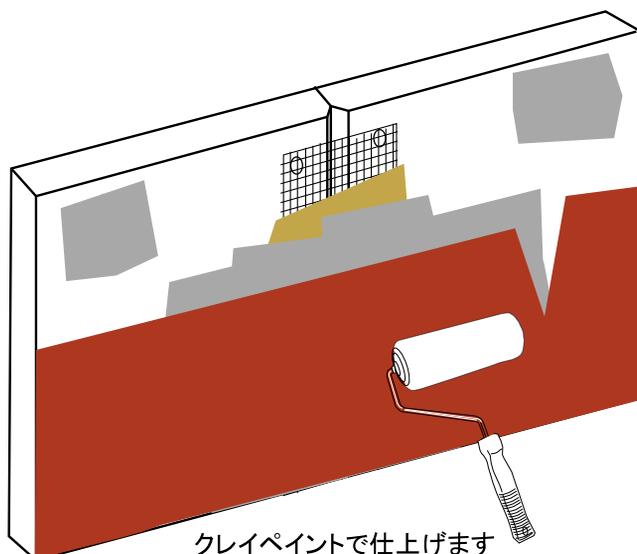
最後に広く平滑にする様に仕上(上塗)パテ処理します  
※中塗パテ、仕上パテ作業は下地の状況により数回行ってください



⑦乾燥後サンドペーパー(#180-#240)で全体を平滑に研磨します  
※パテの粉はよく拭き取ってください

## 参考：下地材料

-  メッシュテープ  
吉野石膏：タイガーGファイバーテープ  
メーカー：MKブリッジテープ
-  下塗パテ  
吉野石膏：タイガージョイントセメント  
メーカー：ジョイントコンパウンド
-  中塗／上塗パテ  
吉野石膏：タイガージョイントセメント  
メーカー：MK ECOスーパーパテ  
※他社製のペイント下地用のパテ材でも可



クレイペイントで仕上げます

#### 【ベニヤなどの木製ボード】の場合

- ・ 木部には直接塗装が可能ですが、木はアクが出ることがあるので事前に Isolating Primer(アイソレーティングプライマー)や市販のアク止め専用シーラー(メーコーMK シミ止め)などでの処理が必要です。また、これらの乾燥を確認してから次の処理に移行してください。
- ・ 木製ボードの場合は、反りや収縮等での動きによりクラックが発生する恐れがありますので、ビス止めの間隔を15センチ以下での施工を確認して下さい。
- ・ ボード継ぎ目の小口はカッター等でV字状に処理してください。
- ・ ボードの継ぎ目にメッシュテープ(MKブリッジテープなど)を貼ります。この時、メッシュテープ同士が交差する部分については、重ならないようにします。
- ・ メッシュテープを貼った継ぎ目部分、ビス穴は、パテ(メーコージョイントコンパウンドなど)で平滑になる様に処理します。乾燥後、メッシュテープの段差や隙間等の無いように仕上げパテ(MK ECO スーパーパテなど)で平滑にします。(不陸調整の為に必要な場合は数回おこないます。乾燥後サンドペーパー等で仕上げ面を整えます)

接着不良の原因となりますので、サンディングした後は表面に付着したパテ等の粉をよく拭き取ってください。

#### 【コンクリート、モルタル】の場合

- ・ 汚れや付着物を取り除いてください。
- ・ 平滑ではない場合、下地材で全面を押さえつけて平滑にし、乾燥させます。
- ・ Isolating Primer(アイソレーティングプライマー)や市販のアク止め専用シーラー(メーコーMK シミ止め)などを塗布します。これらの乾燥を確認した後、塗装してください。

#### 【吸い込みの激しい下地】(ケイカル板など)の場合

- ・ Isolating Primer(アイソレーティングプライマー)や市販の浸透性シーラー(メーコーMK 浸透シーラー等)で表面の吸い込みを抑えてから塗装ください。

#### 【既存のクロス】の場合

- ・ ビニールクロスに直接施工する事が可能です。
- ・ クロスの柄を生かしたまま、塗り替える事が出来ます。
- ・ 下地となるクロスのヤニや汚れを除去する為によく水拭き掃除をして、乾燥させた後、Isolating Primer(アイソレーティングプライマー)や市販のアク止め専用シーラー(メーコーMK シミ止め)などを塗布してください
- ・ クロスの捲れや剥がれは補修してください。継ぎ目や切除部、ピン穴等はメッシュテープ、パテなど(MK ECO スーパーパテ等)で平滑処理してください。その場合、クロスの柄と補修した部分の表情が合わない事が考えられますのでご注意ください。
- ・ クロスを剥がす場合は、裏紙まで剥がしてください。裏紙が残っているとクレイペイントの水分で波打ち、仕上げに影響することがあります。

### 3 クレイペイントの施工について

クレイペイント/クレイペイントテクスチャーは、溶剤等を含んでおりませんので、室内や狭小部分での施工でも臭いがほとんどなく、作業する方に負担をかけません。

- ・ 施工する前にミキサーなどでよくかき混ぜます。
- ・ 塗りにくい場合は、10%まで清水を入れ希釈する事が可能です。  
(特にスプレーガンの場合、使用機種によって20～30%の希釈で粘度を調整してください)
- ・ クレイペイントの施工前、材料の固形物等を目の詰まった布等で漉し取ってください。  
(使い古しのストッキングや水切りネットなどで可)



古ストッキング



水切りネット

- ・ クレイペイント/クレイペイントテクスチャーの標準塗布量は、約0.2リットル/平方メートル(2度塗り)です。10リットルの場合、1缶で約50平方メートル施工できます。下地の状況や仕上げの方法等により変わります。
- ・ クレイペイント/クレイペイントテクスチャーは2回塗りで仕上げます。2回目の塗装は1回目の施工後、2時間以上開けてください。
- ・ 1回目の塗装後、下地が透ける様に見える場合がありますが、乾燥することにより隠蔽しますので、確認後2回目の塗装をおこなってください。
- ・ 一度に厚く塗ると表面がひび割れる事があります。ローラーやスプレーガンでの施工の前に試し塗りを必ず行って、塗布量や表情等、仕上の確認をしてください。(特にスプレーガンの場合、吹きムラ/色ムラのない様、数度塗り重ねて仕上げてください)
- ・ ローラーやスプレーガンで施工する場合、ドアや窓の枠廻り、幅木廻りなどの塗布量が不足する事がありますので、刷毛等で先行塗装を必要とする場合があります。
- ・ 住宅の場合は、ローラーでの塗装をおすすめします。(養生や補修が容易です)
- ・ 調色は、クレイペイント同士を合わせる事で可能です。
- ・ 乾燥時間は、6時間から12時間(条件によって変わります)
- ・ 道具の手入れ 使用した道具は水で洗浄できます。
- ・ 天然鉱物を使用しているため、ロットにより多少色が違う場合があります

塗装方法一覧表(塗装対象や仕上げによって道具を選定してください)			
	道具	長所	短所
1	刷毛	手軽 / 塗装対象に制限がない 補修が容易	広い面積を塗る場合、作業効率が悪い 仕上については技術要
2	ローラー 通常は刷毛と組み合わせて使います	手軽 / 広い平面に適している 補修が容易	入り隅や狭小部には適さない
3	スプレーガン 圧縮した空気と一緒に材料を吹き付けます	作業効率は良く、均一な綺麗な塗装が可能	仕上げには熟練を要す 塗料ロス多い 周辺・非塗装面の広範囲な養生が必要
4	エアレススプレーガン 材料をポンプで圧縮して吹き付けます	広範囲、高所などで使用 作業効率は良く、均一な綺麗な塗装が可能 塗料を選ばない	狭小部では難 仕上げには熟練を要す 塗料ロス多い 周辺・非塗装面の広範囲な養生が必要
吹き付け塗装を選定される場合は塗料使用量にロス率を加えてください。(通常ロス率20~30%)			
吹き付け塗装の場合、仕上の表情によって口径や圧、吐出量等現場にて調整してください。			
タイルガン・リシンガンは、クレイペイント塗装には適していません (口径が大きく、厚く付くため均一に仕上がりにくく、極端に塗装可能面積が小さくなります)			
			
		スプレーガン塗装	

#### 4 施工上の注意

- ・ 現場の温度が低い時(5 以下)施工しないでください。  
(施工中や施工後に気温の低下が予想される時にも施工はしないでください)
- ・ 施工が可能な条件でも、梅雨時や冬期等には乾燥時間が長くなる場合があります。
- ・ クレイペイント/クレイペイントテクスチャーは、自然素材ですので、接する材料や下地によっては、問題が生じる場合があります。これらを回避するためには、本製品の特徴、施工方法をご理解の上、下地の処理・養生等を十分に行い施工してください。

また、ロットにより若干の色の違いが考えられますので、補修時など経年変化により、現在塗ってある色との違いが予想される場合は、対象面を見切ることのできる範囲で(出隅～入り隅、天井～巾木など)1面を塗りなおすことをおすすめします。

## 5 安全上の注意

- ・ 施工場所の換気をよくしてください。
- ・ 目に入らないようにご注意ください。誤って目に入ってしまった場合は、すぐに清潔な水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- ・ 誤って口に入ってしまった場合は清潔な水でうがいをし医師の診断を受けてください。
- ・ 施工後は、手洗い・うがいを行ってください。

## 6 保管 / 廃棄

- ・ パレットなどを敷いて、直接地面に置かないでください。
- ・ 直接3段以上は重ねないでください。
- ・ 濡らさないでください。
- ・ 直接日の当たる場所や高温になる場所、湿度の高い場所には置かないでください。
- ・ 保持期間: 気温・湿度の安定した場所で未開封で1年
- ・ 残った材料は密封して、お早めにご使用ください。  
(水を混ぜたものは特にご注意ください)
- ・ 河川や湖沼、下水道などに直接廃棄しないでください。
- ・ 残った材料や容器の処理は、法令に従ってください。